

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career DevelopmentⅢ	年次	2	実務経験	担当	黒谷 典加
		授業形態	講義			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	30			
		単位	1			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	他己紹介、クラス目標	相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする。
2	就職対策①	模擬面接をチームで行う。
3	就職対策②	模擬面接をチームで行う。
4	就職対策③	模擬面接をチームで行う。
5	グループワーク	面接対策を通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていくかを考える。
6	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材がを求めているか』を考えてまとめる 800文字以内
7	就職対策④	模擬面接をチームで行う。
8	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置を学ぶ。 どうすれば印象に残せるか学ぶ。 【例】美容業界で働くために必要なことは何か考える。
9	社会人基礎力を身につける	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語を正しく学ぶ。
10	社会人基礎力を身につける	伝える力を学ぶ。絵を見て覚え、他の仲間に言葉だけで覚えた絵を伝えることができるか。
11	自分の強みについて考える	自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
12	グループワーク	想定した顧客のニーズを満たせる賞品を話し合い、売るという軸からブレない力を身に付ける 【例】鉛筆を3万円で売るにはどうしますか
13	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
14	定期試験	社会に出ていくために必要なことについてまとめる。800文字以内
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える

科目名 (英)	メイクアップ総合Ⅱ Make upⅡ	年次	2年	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	年代別のファッション&メイクを学び、年代のトレンドを身に付ける。					
到達目標	年代別のファッションメイクの歴史を理解しメイクを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	JMA公式テキスト1級	事前事後 学習と その内容	各年代のトレンドを掴むことによりファッションとメイクの似合わせメイクが普段でも出来る様にする。			
教材	メイク道具一式					
特記事項	授業前にメイク道具をセッティング					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	1920年代のファッションメイク	1920年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
2	1930年代のファッションメイク	1930年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
3	1940年代のファッションメイク	1940年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
4	1950年代のファッションメイク ①	1950年代のファッションメイク歴史、オードリー・ヘップバーンのメイクを模写。
5	1950年代のファッションメイク ②	マリリン・モンローのメイクを模写。
6	1960年代のファッションメイク	1960年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
7	1920~1960年代メイク中間試験対策	年代別メイク 中間試験対策
8	1920~1960年代メイク中間試験	年代別メイク 中間試験
9	1970年代のファッションメイク	1970年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
10	1980年代のファッションメイク	1980年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
11	1990年代のファッションメイク	1990年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
12	2000年代のファッションメイク	2000年代のファッションメイク 歴史とデザイン&メイク実技
13	最新トレンドメイク	最新のファッションメイク実技
14	1950~2000年メイク期末試験対策	年代別メイク 期末試験対策
15	1950~2000年メイク期末試験	年代別メイク 期末試験

科目名 (英)	メイクアップ総合Ⅱ Make UpⅡ	年次	2年	実務経験	担当	堀江 知代
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科 メイクアップ専攻	時間数	60	有		
		単位	2			
講師紹介	国内、外資系の化粧品ブランドで15年以上の経験を持つメイクアーティストが授業を行う。現在フリーランスで雑誌・タレント・CM・スタジオなど様々なヘアメイクを担当している					
目的 科目概要	ビューティーアドバイザーになるためにはブランドの表現したいイメージを作ることが目的 様々な化粧品ブランドの傾向とイメージメイクを習得し表現できるようにイメージを習得する					
到達目標	ビューティーアドバイザーに必要なセルフプロデュースなどの提案力を習得し、接客に活かせるようになる 様々な化粧品ブランドの傾向とイメージメイクを習得し表現できるようになる ブランドごとの広告メイクを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	プリント配布					
特記事項	なし					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	メイクテクニック確認・ポイントメイクに絞ってレベルアップする(ベースメイクⅠ)	ベースメイクの基礎力をアップさせ、応用力をつける(スキンケア、下地、コンシーラー、ファンデーション)
2	メイクテクニック確認・ポイントメイクに絞ってレベルアップする(ベースメイクⅡ)	ベースメイクの基礎力をアップさせ、応用力をつける(ベースメイクⅠ+チーク、ハイライト、シェーディング)
3	メイクテクニック確認・ポイントメイクに絞ってレベルアップする(アイメイクⅠ)	アイメイクの基礎力をアップさせ、応用力をつける(アイシャドー、アイライン、マスカラ)
4	メイクテクニック確認・ポイントメイクに絞ってレベルアップする(アイメイクⅡ)	アイメイクの基礎力をアップさせ、応用力をつける(アイシャドーの入れ方、色、形)
5	メイクテクニック確認・ポイントメイクに絞ってレベルアップする(眉・リップ)	眉・LIPの基礎力をアップさせ、応用力をつける
6	中間試験対策	苦手な部分をもう一度復習し、モデルに合わせたフルメイクができるようになる
7	中間試験	モデルに合うフルメイクを45分以内で行う
8	外資ブランドAの傾向を知り、メイクレッスンをする	外資ブランドAの傾向とイメージメイクの模写
9	外資ブランドBの傾向を知り、メイクレッスンをする	外資ブランドBの傾向とイメージメイクの模写
10	外資ブランドCの傾向を知り、メイクレッスンをする	外資ブランドCの傾向とイメージメイクの模写
11	国産ブランドAの傾向を知り、メイクレッスンをする	国産ブランドAの傾向とイメージメイクの模写
12	国産ブランドBの傾向を知り、メイクレッスンをする	国産ブランドBの傾向とイメージメイクの模写
13	カウンセリングシートを使った実習 カウンセリングⅠ	カウンセリングを使ったメイクを習得する。カウンセリングシートを駆使し、モデルにあったメイクの提案Ⅰ
14	カウンセリングシートを使った実習 カウンセリングⅠ	カウンセリングシートを駆使し、モデルに合ったメイクの提案Ⅱ
15	定期試験	カウンセリングシートを使ったフルメイクを50分で行う

科目名 (英)	ヘアメイク技術Ⅱ Hair Make Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	松尾 友湖
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	ゴールドシブ所属。教員としても長いキャリアを持つ為、分かりやすくレクチャーするので積極的に学んでほしい。					
目的 科目概要	ビューティーアドバイザーになるためには国内・外資ブランドに合わせたセルフイメージを作ることが大切となる。様々な化粧品ブランドのイメージメイクを習得し表現できるようにする。またヘアスタイルとメイクアップの関係はとて深く、メイクだけではなく、メイクの表現を広げる手段としてヘアスタイルを学んでほしい。					
到達目標	ビューティーアドバイザーのためのヘアメイクを習得する。 様々な化粧品ブランドで働くスタッフの傾向とイメージメイクを習得し表現できるようになる。 ヘアとメイクのバランスの修得を目標とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	プリント適宜配布		事前事後 学習と その内容			
教材	ヘア道具教材一式 メイク道具教材一式					
特記事項	基本的には全ての授業で相モデルで行う。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ヘアテクニック確認・レベルアップ／小テスト	ヘア基礎力をアップさせる。ホットカーラー・コテ・ピニング・逆毛・ゴムの確認
2	ヘアテクニック確認・レベルアップ／小テスト	ヘア基礎力をアップさせ、応用力をつける。表裏編み込み・ダウンスタイル・アップスタイルの習得
3	メイクテクニック確認・レベルアップ	ゴールデンバランス・パーソナルな修正を習得
4	イメージ別ヘアメイク／小テスト	モデルの望むイメージにより近づけるためにパーソナルなヘアメイクの提案力、技術力を上げる
5	イメージ別ヘアメイク／小テスト	モデルの望むイメージにより近づけるためにパーソナルなヘアメイクの提案力、技術力を上げる
6	中間試験対策	中間試験に備えた試験対策を行う
7	中間試験	中間試験の実施
8	テクニックの確認・復習	中間試験による問題点、改善点の理解
9	ブランド別ヘアメイク	コスメブランドのイメージに合わせたヘアメイクの習得
10	ブランド別ヘアメイク	コスメブランドのイメージに合わせたヘアメイクの習得
11	ブランド別ヘアメイク	コスメブランドのイメージに合わせたヘアメイクの習得
12	ブランド別ヘアメイク	コスメブランドのイメージに合わせたヘアメイクの習得
13	ブランド別ヘアメイク	コスメブランドのイメージに合わせたヘアメイクの習得
14	定期試験対策	モデルのイメージに合わせたブランドを選び、定期試験に備えた試験対策を行う
15	定期試験	定期試験の実施

科目名 (英)	サロンワーク I	年次	2	実務経験	担当	浅野 景子
	Salon Work I	授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	150	有		
講師紹介	化粧品ブランドで接客接客、ビューティカウンセリングとアドバイスを経験し、長きにわたり従事し、監督職として部下育成に貢献してきています。スキンケアインストラクターとして専門教育を行っています。ビューティアドバイザー、メイクアップアーティストを目指す皆さんにサロンでの接客マナーや技術の基礎をお伝えします。					
目的 科目概要	目的:ビューティトレーニングランドサロンの立ち上げプランニングを行い、オープンしたサロンでプロとしての接客接客、知識と技術を修得する。 概要:この科目では一般のお客様をおもてなしできるメイクアップサロン作りにはチームワークや協調性を発揮する。また、接客技術、カウンセリング力、及びメイクアップ技術を向上する。サロン業務での問題解決や対策をチームで臨機応変に行うことを学ぶ。肌診断機を使用しエビデンスに基づいたスキンケアアドバイスができるための知識を学び資格を得る。					
到達目標	お客様が満足できるビューティトレーニングランドメイクアップサロンのプランニングができる。 化粧品を扱う業界での接客接客マナーである言葉づかい、表情、態度、立ち居振る舞いを修得する。 メイクアップコースのメンバーや他コースの学生達との連携からコミュニケーション能力と協調性を身につける。 プロとして通用するメイクアップ技術を修得し、日本コスメティック協会コスメマイスター検定に合格する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	日本コスメティック協会検定テキストコスメQ&A	事前事後 学習と その内容	ビューティトレーニングランドサロンとしてふさわしい会話ができるよう、日常でも正しく敬語を使い分けて話す。ブランド問わず多くの化粧品情報を自ら興味を持ち収集し、スキンケアアドバイスやメイクアップアドバイスに活用することが望ましい。カウンセリング&アドバイス対策は受講する範囲を事前に読み、練習問題や模擬問題に取り組みできるようにしてほしい。			
教材						
特記事項	メンバー全員で、報告、連絡、相談を徹底し、サロンワークの業務は全員で共有する。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	プランニング①	ビューティトレーニングランドサロンオープンの目的について3コース合同打ち合わせを行う。グループ組織と役割、リーダーを決定する。店名、コンセプト、ターゲット、イメージを決定する。
2	カウンセリング&アドバイス対策① プランニング②	サロン内装、インテリア、レイアウト、ドレスコードを決定する。ターゲットとコンセプトに合ったメニューを決定する。
3	カウンセリング&アドバイス対策② プランニング③	チラシ、ポスター、メニュー表、POPを作成し、東京ベルエポック美容専門学校HPに掲載する原稿を作成する。サロンオープンに必要な使用商材を決定し購入する。
4	カウンセリング&アドバイス対策③ プランニング④・リハーサル	プランニングで決定したサロン作り、お客様のお迎え、カウンセリング、スキンケア診断、メイクアップ、お送りのリハーサルを行い、改善点や変更点を洗い出し、対策を実行する。
5	カウンセリング&アドバイス対策④ プレオープン①	お客様をお迎えし、カウンセリング、肌診断、アドバイス、またはメイクアップを行う。
6	カウンセリング&アドバイス対策⑤ プレオープン②	お客様をお迎えし、カウンセリング、肌診断、アドバイス、またはメイクアップを行う。
7	カウンセリング&アドバイス対策⑥ プレオープン振り返り・中間試験	中間試験はプランニング①～④、リハーサル、プレオープンを前向きに取り組み理解しているか確認する。
8	カウンセリング&アドバイス対策⑦ サロンオープン①	サロングランドオープンレイアウト、化粧品セッティング、接客接客、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。
9	カウンセリング&アドバイス対策⑧ サロンオープン②	サロンオープンレイアウト、化粧品セッティング、接客接客、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。
10	カウンセリング&アドバイス対策⑨ サロンオープン③	サロンオープンレイアウト、化粧品セッティング、接客接客、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。
11	カウンセリング&アドバイス対策⑩ サロンオープン④	サロンオープンレイアウト、化粧品セッティング、接客接客、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。
12	カウンセリング&アドバイス対策⑪ サロンオープン⑤	サロンオープンレイアウト、化粧品セッティング、接客接客、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。
13	カウンセリング&アドバイス対策⑫ サロンオープン⑥	サロンオープンレイアウト、化粧品セッティング、接客接客、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。
14	日本コスメティック協会検定コスメマイスター試験 サロンオープン⑦	サロンオープンレイアウト、化粧品セッティング、接客接客、スキンケアアドバイス、メイクアップを行う。前期を振り返り、後期の変更点を洗い出し対策を決定する。
15	定期試験	サロンオープン振り返り、日別に業務内容をレポートし、自己評価を行う。また、後期に向けさらに修得する点を明確にし、計画や目標を立てる。

科目名 (英)	スキンケアアカウンセリングⅡ		年次	2	実務経験	担当	浅野 景子
	Skin Care Counseling Ⅱ		授業形態	講義・演習			
学科・コース	トータルビューティ科		時間数	60	有		
講師紹介	化粧品ブランドで接客接客、ビューティカウンセラーとアドバイザーを長きにわたり従事し、監督職として部下育成に貢献してきています。スキンケアインストラクターとして専門教育を行っています。化粧品ブランド就職を目指す皆さんにスキンケアアドバイスをを行うために必要な知識と技術を伝授します。		単位	4			
目的 科目概要	目的: スキンタイプ別、または肌の悩みに合わせたスキンケアアドバイスを的確に行うためのカウンセリング技術を習得する。また、化粧品カウンターの売場で管理すべき売場の数字を学ぶ。 概要: 肌タイプ別スキンケアと肌の悩み別スキンケアの知識を活かし、スキンケアアカウンセリングを行ったうえでアドバイスをするロールプレイ中心で、化粧品を扱うにふさわしい接客接客を身につける授業である。						
到達目標	スキンケアを見極めて肌の状態を説明することができる。 スキンタイプや肌の悩みに合わせた確にスキンケアアカウンセリングとスキンケアアドバイスができる。 スキンケア化粧品を扱うにふさわしい言葉づかい、立ち居振る舞い、セールストークができる。 ロールプレイによるスキンケアアイテムの販売体験を通し、売上累計、客単価、在庫金額、達成率を算出できる。						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品						
教科書			事前事後 学習と その内容	1年生に学んだ『スキンケアアカウンセリング』を復習しておくことが望ましい。就職先、目指している化粧品ブランド、興味のあるスキンケアの種類、特徴、有効成分等を自分で調べロールプレイで活用すると将来役に立つ。			
教材							
特記事項	授業内で配布したプリント、資料や自分で収集したパンフレットや資料を持参して受講する。						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケアアカウンセリング時接客マナーとロールプレイの内容と目標	スキンケアアカウンセリングにふさわしい言葉づかいの確認と接客の7大用語を復習する。接客時の姿勢とスキンケアアイテムやツールの扱い方を身につける。ロールプレイ用の目標予算と期首在庫を決める。
2	ドライスキンアカウンセリング & アドバイス知識	ドライスキンの肌の状態を説明でき、スキンケアアカウンセリングポイント、スキンケアポイントを学び、スキンケアアドバイスシートを作成する。
3	ドライスキンアカウンセリング & アドバイスロールプレイ	ドライスキンを設定したロールプレイで、スキンケアアカウンセリングを行う。
4	オイリースキンアカウンセリング & アドバイス知識	オイリースキンの肌の状態を説明でき、スキンケアアカウンセリングポイント、スキンケアポイントを学び、スキンケアアドバイスシートを作成する。
5	オイリースキンアカウンセリング & アドバイスロールプレイ	オイリースキンを設定したロールプレイで、スキンケアアカウンセリングを行う。
6	コンビネーションスキンアカウンセリング & アドバイス知識	コンビネーションスキンの肌の状態を説明でき、スキンケアアカウンセリングポイント、スキンケアポイントを学び、スキンケアアドバイスシートを作成する。
7	中間試験	ドライスキン、オイリースキン、コンビネーションスキンの肌の状態、それぞれのスキンケアアカウンセリングポイントを理解しており、スキンケアアドバイス力が修得できているか確認する。
8	コンビネーションスキンアカウンセリング & アドバイス	コンビネーションスキンを設定したロールプレイで、スキンケアアカウンセリングを行う。
9	シミ対策スキンケアアカウンセリング & アドバイス	メラニンの過剰生成の原因やメラニンのできる過程を説明でき、スキンケアアカウンセリングポイント、スキンケアポイントを学び、スキンケアアドバイスシートを作成する。
10	シミ対策スキンケアアカウンセリング & アドバイス	シミが悩みを設定したロールプレイで、スキンケアアカウンセリングを行う。
11	しわ対策スキンケアアカウンセリング & アドバイス	表皮性しわと真皮性しわを見極め、皮膚の状態を説明でき、スキンケアアカウンセリングポイント、スキンケアポイントを学び、スキンケアアドバイスシートを作成する。
12	しわ対策スキンケアアカウンセリング & アドバイス	真皮性しわを設定したロールプレイで、スキンケアアカウンセリングを行う。
13	スキンタイプ別アカウンセリング & アドバイス	スキンタイプ別に皮膚の状態の説明ができ、スキンケアアカウンセリングにより的確なスキンケアアドバイスができるか確認する。ロールプレイで発生した数字の管理を行う。
14	売場の数字管理	ロールプレイで発生した売上金額、客単価、達成率、前年対比、在庫金額を算出する。
15	定期試験	シミ対策・しわ対策スキンケアアカウンセリング & アドバイスができる知識を修得し、スムーズにスキンケアアドバイスができるか確認する。

科目名 (英)	コンテスト対策 I Measures for contest	年次	2	実務経験	担当	阿部恵理子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	コンテスト出場者、過去入賞者を指導した実績から傾向と対策を考えてアート、イクステンション技術を教えるのと同時に自身でデザインをする力を育てていきたい。					
目的 科目概要	コンテストに必要なアートとイクステンション技術などのネイルテクニックとデザイン力を学び、コンテストで通用する技術を身につける。					
到達目標	コンテストに必要なアートとイクステンション技術などのネイルテクニックとデザイン力を学び、コンテストで通用する技術を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書	テクニカルシステムベーシック		事前事後 学習と その内容	学内外のコンテストに参加するために授業で習った技術の練習、タイムトライアルを行うことが望ましい。		
教材	ネイル道具一式					
特記事項	作品に合わせた材料を都度用意する。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	動物/犬、猫	鉛筆でデッサンして顔のパーツの配置、バランスを練習後ネイルチップを作成する。
2	動物/鳥、魚	ネイルチップで鳥の羽や孔雀、魚の鯉や金魚を作成する。
3	人物①	1年生で習った人物を復習
4	人物②	より立体感をつけて、人物を描けるようになる
5	ボタニカル	背景になるような植物をネイルチップで練習する。
6	中間試験の練習	デザインを決めて時間内にクオリティの高い作品を作れるように練習する。
7	中間試験	規定の時間内に5枚セットのネイルチップをつくる。
8	ネイルイクステンション復習	ジェルイクステンションを復習する。
9	ジェルチップオーバーレイ/ネイルアート	ジェルチップオーバーレイの上にアートをする。
10	ジェルスカルプチュア/ネイルアート	ジェルスカルプチュアの上にアートをする。
11	ジェルイクステンション/ネイルアート①	ジェルイクステンションの上にアートをする。
12	ジェルイクステンション/ネイルアート②	ジェルイクステンションの上にアートをする。
13	ジェルイクステンション/ネイルアート③	ジェルイクステンションの上にアートをする。
14	定期試験の練習	相モデルになってイクステンション2本に人物または動物のアートをする。
15	定期試験	相モデルになってイクステンション2本に人物または動物のアートをする。

科目名 (英)	ネイル総合技術 II Nail Art II	年次	2	実務経験	担当	阿部 恵理子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティー科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	ネイリストとしてサロンワークやスタッフ育成に携わりながら、長年講師活動や検定試験官として活動する教員が、最新の業界情報を基にジェルネイル検定試験中級とネイリスト技能検定試験1級、2級合格を目指した授業を行う。					
目的 科目概要	ジェルネイル検定試験中級とネイリスト技能検定試験1,2級合格レベルの技術と知識を身につける。					
到達目標	ジェルネイル検定試験中級とネイリスト技能検定試験1,2級合格レベルの技術と知識を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	テクニカルシステムベーシック テクニカルシステムジェル		事前事後 学習と その内容	検定に向けてのタイムトライアルや仕込みなどを自宅学習として行うこと。		
教材	ネイル道具一式					
特記事項	相モデルの授業になるので、ジェルネイル、スカルプチュア禁止。毎回自爪で授業に臨むこと。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェル中級試験	テクニカルシステムジェルを見ながら中級試験内容説明、デモンストレーション
2	ジェルイクステンション①	ジェルイクステンションの練習をする。
3	ジェルイクステンション②	ジェルイクステンションの練習をする。
4	ジェルイクステンション③	ジェルイクステンションの練習をする。
5	ジェルグラデーション	ジェルグラデーションの練習をする。
6	ジェルフレンチ	ジェルフレンチの練習をする。
7	中間試験	第一課題とジェルオフなしで70分タイムトライアル
8	ネイリスト技能検定試験練習①	1級2級それぞれの級の練習をはじめ。
9	ネイリスト技能検定試験練習②	1級2級それぞれの級の練習をはじめ。
10	ネイリスト技能検定試験練習③	1級2級それぞれの級の練習をはじめ。
11	ネイリスト技能検定試験練習④	1級2級それぞれの級の練習をはじめ。
12	タイムトライアル①	タイムを計って1級2級それぞれの級の練習をはじめ。
13	タイムトライアル②	タイムを計って1級2級それぞれの級の練習をはじめ。
14	タイムトライアル③	タイムを計って1級2級それぞれの級の練習をはじめ。
15	定期試験	規定の時間内に検定試験合格レベルの施術を行う。

科目名 (英)	ネイリスト検定試験対策Ⅱ Prep for Nailist Examinations	年次	2	実務経験	担当	田野入 麻記子
		授業形態	実習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	ネイリストとして豊富な現場経験を持ち、講師としても長きに渡り指導に当たり多くの検定試験合格者を排出してきた教員が検定試験合格に向けて基礎から徹底して技術を指導し、検定試験に合格するためのポイントを細かく説明しながら授業を行う。					
目的 科目概要	JNECネイリスト技能検定、JNAジェルネイル検定試験対策を行う。					
到達目標	全ての技術のベースとなる基礎をしっかりとマスターし検定試験合格を目指すのはもちろんその技術を通して将来即戦力となる高い技術を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック、テクニカルベーシックジェルネイル	事前事後 学習と その内容				
教材	ネイル道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	検定試験の内容を理解する	試験要項の内容を完璧に理解する。 試験内容や減点、失格のポイントも確実に把握する。
2	イクステンション①	フォームのカットのしかた～1ボール目のアプリケーションをマスターする。
3	イクステンション②	フォーム装着から1～3ボール目までのアプリケーションをマスターする。 ピンチング、削りまで行う。
4	イクステンション③	チップオーバーレイの基礎を学ぶ。 チップ装着から削りまで行う
5	イクステンション④	イクステンション①～③で学んだ技術を生かし 人差指、中指、薬指を同じ形に仕上げる。
6	イクステンション⑤	片手5本にイクステンションを装着する。 バランスを重視して仕上げる。
7	中間試験	これまでに学んできた技術を用いて合格点を取る。
8	ジェルネイル検定中級に向けて	試験要項の内容を完璧に理解する。 試験内容や減点、失格のポイントも確実に把握する。
9	ジェルネイル検定中級①	ジェルオフ、グラデーション、フレンチを習得する。
10	ジェルネイル検定中級②	ジェルイクステンションを加え中級で必要な技術を相モデルで練習する。
11	ジェルネイル検定中級③/JNEC対策	試験本番の手順に従い通して技術を行う。 また、JNEC検定試験内容の復習を行う。
12	ジェルネイル検定中級④/JNEC対策	試験本番の手順に従い通して技術を行う。 前回よりも完成度の高い仕上がりを目指す。
13	ジェルネイル検定中級⑤/JNEC対策	試験本番の手順に従い通して技術を行う。 タイムを計り、時間内に完成度の高い作品を仕上げる。
14	ジェルネイル検定中級⑥/JNEC対策	検定試験合格レベルの仕上がりを目指す。 細かい箇所の見直しを徹底する。
15	定期試験	ジェルネイル検定中級合格レベルの仕上がりを目指す。

科目名 (英)	ネイリスト検定対策Ⅱ Nail for Examination II	年次	2年	実務経験	担当	殿村 雅子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属のネイリストとして現場の経験を活かし技術指導を行う。					
目的 科目概要	ジェル検定中級の内容の理解をして頂き、ジェルクステンションを学ぶ。最終的にネイリスト技能検定1・2級に合格する事を目標とし授業を行う。タイムを意識して施術し、中間テストと期末テストを取り入れ、ジェル検定初・中・上級に合格できるよう実技採点基準に基づき合格レベルに達するよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ネイリスト技能検定1・2級に合格できるよう商品の特性を習得し、技術の向上を図る。 ジェル検定中級に合格出来るようハンドケア・ジェルについて学び技術を習得。 実際に相モデルトレーニングを行い検定時間内に技術を終える事が出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	JNAテクニカルシステムベースック、JNAジェル	事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。			
教材	ネイル道具一式、検定要項					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェル検定中級の内容の理解	要項解説・マシンでのオフ。内容書き取り・デモ・相モデルトレーニング
2	ジェルクステンションを覚える	フォームを用いたジェルの長さ出し。デモ・相モデルトレーニング
3	中級に向けて自信をつける	グラデーション・ジェルクステンション。デモ・相モデルトレーニング
4	中級に向けて自信をつける	フレンチ・ジェルクステンション。デモ・相モデルトレーニング
5	中級内容のスムーズな施術が出来るようになる	グラデ・フレンチ・ジェルクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング
6	中級に向けて自信をつける	グラデ・フレンチ・ジェルクステンション・マシンでのオフ。相モデルトレーニング
7	中間試験	中級試験内容
8	ネイリスト技能検定に向けて気持ちを切り替える	1級:スカルプチュア、2級:ケアカラー・チップラップ 相モデルトレーニング
9	検定級別に技術強化する	1級:スカルプ・チップオーバーレイ ・2級:ケアカラー・チップラップ相モデルトレーニング
10	検定級別に技術強化する	1級:スカルプ・チップオーバーレイ ・2級:ケアカラー・チップラップ相モデルトレーニング
11	苦手を軽減する	1級:スカルプ・アート ・2級:チップラップ・アート 相モデルトレーニング
12	タイムを意識して施術する	1級:スカルプ・チップオーバーレイ ・2級:ケアカラー・チップラップ・アート 相モデルトレーニング ・タイムカウント
13	ネイリスト技能検定に向けて気持ちを切り替える	1級:スカルプ・チップオーバーレイ・2級:ケアカラー・チップラップ デモ・相モデルトレーニング
14	時間内に完璧に仕上げる	1級:スカルプ・チップオーバーレイ・アート ・2級:ケアカラー・チップラップ・アート 相モデルトレーニング・タイムカウント
15	定期試験	1級:スカルプ・アート ・2級:チップラップ・アート 相モデルトレーニング

科目名 (英)	サロンワーク I Salon Work I	年次	2年	実務経験	担当	殿村 雅子
		授業形態	講義・実習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属のネイリストとして現場の経験を活かし技術指導を行う。					
目的 科目概要	サロンなどで働く際必ず必要な仕事への姿勢、挨拶の仕方、お客様への気遣い、店舗の清掃、身の回りの整理整頓を進んで行う。又、店内での接客マナーやスタッフ間のチームワーク、協調性を身に付ける為にはどのようにしたら良いか等を理解してほしい。 開店、集客、接客、お見送り、アフターフォローなどサロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身に付けるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	サロン運営を通して、整理整頓を進んで行う事が出来る。 接客マナーやスタッフ間のチームワークでの協調性を身につけることができる。 サロン勤務の一連の流れを把握し、概要を説明できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	プリント(補助教材)随時配布		事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。		
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンを作る上で必要な要素を学ぶ	サロンを運営するにあたっての準備事項を理解する
2	季節に合ったメニュー提案を考える(フットケア)	教材確認、フットケア手順、角質除去手順覚える。相モデルトレーニング。
3	メニュー技術を学ぶ	フットケア、フットマッサージ、角質除去覚える。相モデルトレーニング。
4	メニュー技術を時間内に仕上げる	フットケア、フットジェル、角質除去をマスターする。相モデルトレーニング。
5	メニュー技術を時間内に仕上げる	ジェルオフ、ジェルアートデザインを、接客を行いながら時間内に施すことができる。相モデル。
6	フットケア、フットジェルアート、角質除去の習得	フットケア、フットジェルアート、角質除去をマスターする。相モデルトレーニング。
7	中間試験	中間試験
8	メニューのジェルデザインを考案する	季節、ニーズに合わせたデザインの考案をすることができる。 デザイン通り時間内に施術を行うことができる。
9	ビューティートレーニングランド振り返り、プランニング	リピートしたくなる接客を考え実行に向けた準備を行う。
10	ビューティートレーニングランド振り返り、プランニング	より良い店内作りをするための改善点を考え、実行に向けた準備を行う。
11	ビューティートレーニングランド振り返り、プランニング	クレームについて考え、ロールプレイングを行い、対応力を付ける。
12	ビューティートレーニングランド振り返り、プランニング	店舗運営における売上管理、収支を理解する。
13	ビューティートレーニングランド振り返り、プランニング	顧客管理、顧客情報活用について知ることができる。
14	ビューティートレーニングランド振り返り、プランニング	一年間の振り返りを行い、現場で活かせる力を見出すことができる。
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	サロンワーク I Salon Work I	年次	2年	実務経験	担当	服部 幸子
		授業形態	講義・実習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	90	有		
		単位	6			
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属のネイリストとして現場の経験を活かし技術指導を行う。					
目的 科目概要	サロンなどで働く際必ず必要な仕事への姿勢、挨拶の仕方、お客様への気遣い、店舗の清掃、身の回りの整理整頓を進んで行う。又、店内での接客マナーやスタッフ間のチームワーク、協調性を身に付ける為にはどのようにしたら良いか等を理解してほしい。 開店、集客、接客、お見送り、アフターフォローなどサロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身に付けるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	サロン運営を通して、整理整頓を進んで行う事が出来る。 接客マナーやスタッフ間のチームワークでの協調性を身につけることができる。 サロン勤務の一連の流れを把握し、概要を説明できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	プリント(補助教材)随時配布		事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。		
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	プランニング①	役割決め(店長・副店長・経理)、予算発表、日々の管理について 全体打ち合わせ(メイク、エステ、ネイル合同 4限目)
2	プランニング②	グループワークでどんなサロンにしたいのかを考える。テーマ(店名)、コンセプト、イメージ、 メニュー、内装、POP、インテリア、使用商材、HP内容
3	プランニング③	セッティングのシュミレーション、備品のチェック、導線確認。
4	プランニング④	セッティングのシュミレーション、備品のチェック、導線確認。
5	プレオープン	お客様をお迎えして施術を行う
6	プレオープン	お客様をお迎えして施術を行う
7	中間試験	オープンしての振り返り発表。反省点を改善し、集客に取り掛かる。
8	グランドオープン	一般のお客様に対してグランドオープンをする。
9	サロンオープン	サロンオープン
10	サロンオープン	サロンオープン
11	サロンオープン	サロンオープン
12	サロンオープン	サロンオープン
13	サロンオープン	サロンオープン
14	サロンオープン	サロンオープン
15	定期試験	サロンオープンしての振り返り発表(合同)反省点を改善し、集客に取り掛かる。

科目名 (英)	サロンワーク I Salon Work I	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	90	有		
		単位	6			
講師紹介	エステティシャンとして、約18年間、フェイシャルケア、ボディケア等様々な美容サービスを提供。また美容専門学校においては現場経験を踏まえながら心身を癒し、美肌やボディラインを整える為のノウハウをお伝えしています。この授業では実務を通じて、皆さんがエステティシャンとして社会で活躍する際に必要となる接客力や技術力を磨いていきます。お客様により多くご満足頂けるよう、実践を繰り返し切磋琢磨していきましょう。					
目的 科目概要	一年次に学んだ基礎知識と技術を基に、事前準備の大切さ、協調と協力の必要性を体感する。サロンワークにおける接客、施術を通し、お客様にご満足頂ける接客力、技術力を習得する。お客様、サロン、スタッフにとって、より良い環境やサービス提供の為のアイデアと前向き思考を持ち、実践を繰り返す。					
到達目標	挨拶・気遣い・清掃・整理整頓を進んで行う事が出来る。接客マナー・チームワーク・協調性を身につける。サロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	実習後、サロンワークを行ってみて考えられる改善点や伸長点は次回授業までに列挙しておく。		
教材						
特記事項	授業内にスタッフ同士で決定した事や変更事項は必ずメモに残し、スタッフ全員で統一見解を持つ事。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション①合同ミーティング	この科目の意味や目的を理解する。どんなサロンにしたいか(サロンコンセプト、サロン名、イメージ、レイアウト、役割等)をグループワークで考える。メイクアップコース、ネイルコースと合同ミーティングし総合サロン懸案。
2	オリエンテーション②コース内ミーティング	メニュー、トリートメント内容、使用商材、使用機材など、具体的な項目を検討する。合同ミーティングで懸案した事項を具体化する。
3	オリエンテーション③コース内ミーティング	メニュー、トリートメント内容、使用商材、使用機材など、具体的な項目を決定、作成準備する。
4	リハーサル・プランニング	レイアウト、ベッドメイキング等を行い、相モデルにてお客様のお出迎えから接客、施術、アシスト、お見送りまでを行う。改善点を見出し、対策を考察する。
5	プレオープン①	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。内容や工程の最終調整を検証、調整する。
6	プレオープン②	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。内容や工程の最終調整を検証、調整する。
7	中間試験	オリエンテーションからプレオープンまでの振り返り発表。グランドオープンの準備。
8	サロンオープン①	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
9	サロンオープン②	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
10	サロンオープン③	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
11	サロンオープン④	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
12	サロンオープン⑤	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
13	サロンオープン⑥	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
14	サロンオープン⑦	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
15	定期試験	グランドオープンから14回授業までの振り返り。改善点の洗い出し後期に向けた準備。

科目名 (英)	エステティック総合Ⅱ Esthetics Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	小池 千絵
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティー科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	国内外のエステティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエステティックの授業を受け持つ講師がAEA上級エステティシャン実技試験合格のためのフェイシャル技術をお伝えします。					
目的 科目概要	お客様のお悩みに合わせたメニューを組み立てられるようになる。					
到達目標	AEA上級エステティシャン実技試験に合格する					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	AEAテキスト、日本エステティック協会実技テキスト		事前事後 学習と その内容	マッサージの手技を正確にできるようにしてください		
教材	プリント(適宜)					
特記事項	時間前に必ず準備を終えておくこと					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	試験概要とコンサルテーション	AEA実技試験を理解する。
2	乾燥肌	乾燥肌に適したトリートメントをできるようになる
3	色素沈着とニキビ跡	色素沈着、ニキビ跡に適したトリートメントをできるようになる
4	しわ、たるみ	しわ、たるみに適したトリートメントをできるようになる
5	脂性肌	脂性肌に適したトリートメントをできるようになる
6	実技試験について	実技試験の流れを時間内にスムーズにできるように練習する
7	中間試験	クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～機器～マッサージ～マスク～整肌を時間内に行い口頭試問に答える
8	モデルに適したメニューの組み立て	肌質、肌状態を理解する
9	モデルに適したメニューの組み立て	肌質、肌状態を理解する
10	マッサージについて考える	フェイシャルマッサージを作成する
11	マッサージについて考える	作成したマッサージを練習する
12	リフティングマッサージ	新しいマッサージを習得する
13	リフティングマッサージ	しっかりとマッサージのポイントを理解し効果の出るマッサージをする
14	リフティングマッサージ	マニュアルを見ずにできるようになる
15	定期試験	クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～機器～マッサージ～マスク～整肌を時間内に行い口頭試問に答える

科目名 (英)	エステティック総合Ⅱ Esthetics II	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	CIDESCO国際資格を取得して国内のエステサロンのみならず海外での勤務経験を積み、様々な技術のノウハウを習得した教員がAEA上級認定実技試験に必要な知識と技術を教える。すべてのトリートメントには目的があり、それをすることで何が、どのように変化するのか常に意識をしながら技術を行ってほしい。					
目的 科目概要	目的: AEA上級認定実技試験に必要なボディエステティックの知識と技術を習得する。また機器トリートメントの技術アップを図る。 概要: ボディコンサルテーション、ボディマッサージ、機器トリートメント、採寸の仕方を学ぶ。					
到達目標	AEA上級認定実技試験に合格する お客様のボディトラブルに対し、的確なボディ機器トリートメントが選択できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	エステティック協会テキスト技術編Ⅰ、AEAテキスト17ボディ実技理論		事前事後 学習と その内容	行った内容は必ず復習し、スムーズに授業が行えるようにすること。 授業開始と共にトリートメントが始められるよう、前準備は余裕を持って終わらせておくこと。		
教材	プリント適宜配布					
特記事項	モデル時はおお客様の立場になってトリートメントを受け、技術者に的確なアドバイスをする。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ボディマッサージ①	AEA上級認定実技試験の概要説明 ボディマッサージ(2か所選択)
2	ボディマッサージ②	ボディマッサージ(下肢後面、腰背部、下肢前面、上肢、腹部)
3	ボディコンサルテーション①	コンサルテーションの目的と方法を考える、筋肉チェック、トラブルチェックの確認 ボディマッサージ(マッサージ箇所選択)
4	ボディコンサルテーション②	口頭質問例を考える、トラブル別プランニングを行う ボディマッサージ(マッサージ箇所選択)
5	ボディエステティック通し①	ご案内、コンサルテーション、ボディマッサージ、誘導 口頭質問に答えながらトリートメントを行う
6	ボディエステティック通し②	ご案内、コンサルテーション、ボディマッサージ、誘導 時間内に正確なトリートメントを行う
7	中間試験	1～6回までの演習の理解度を確認する
8	ボディ機器 (サクション)	サクションの目的や禁忌事項などの確認 サクショントリートメント
9	ボディ機器 (G5)	G5の目的や禁忌事項などの確認 G5トリートメント
10	ボディ機器 (低周波)	低周波の目的や禁忌事項などの確認 低周波トリートメント
11	ボディ機器 (ガルバニック)	ガルバニックの基礎知識、手順を学ぶ ガルバニックトリートメント
12	ボディ機器 (エンダモロジー)	エンダモロジーの基礎知識、手順を学ぶ エンダモロジートリートメント
13	ボディ機器 (エンダモロジー)	エンダモロジーの基礎知識、手順を学ぶ エンダモロジートリートメント
14	採寸、ボディ機器選択	採寸の仕方を学ぶ。 モデルに合わせて機器を選択し、施術前と後での変化を説明する。
15	定期試験	8から14回までの演習の理解度を確認する

科目名 (英)	エステティック理論Ⅱ Esthetics Theory Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	小池 千絵
		授業形態	講義			
学科・コース	トータルビューティー科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	国内外のエステティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエステティックの授業を受け持つ講師がAEA上級エステティシヤンの筆記試験に合格するために馴染みにくい解剖生理学などを理解しやすく解説します。					
目的 科目概要	エステティック概論、解剖生理学、心身生理学、運動生理学を学ぶ					
到達目標	AEA上級エステティシヤン筆記試験に合格する					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	AEAテキスト		事前事後 学習と その内容	事前にテキストをしっかりと読み事後は例題集を解く		
教材	ぜんぶわかる人体解剖図					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	解剖生理学とエステティック概論	細胞、組織、器官系 エステティックとは
2	解剖生理学とエステティック概論	免疫 エステティックの歴史と現状
3	解剖生理学とエステティック概論	骨格系 エステティックの展望
4	解剖生理学と運動生理学	筋系 運動の必要性
5	解剖生理学と運動生理学	神経系 筋肉、呼吸器、循環器と運動
6	解剖生理学と運動生理学	感覚器系 代謝と運動 運動処方
7	中間試験	1～6回目までの範囲
8	解剖生理学と運動生理学	消化器系 運動の実際
9	解剖生理学と心身生理学	呼吸器系 脳のことを知りたい
10	解剖生理学と心身生理学	循環器系 神経系の構造と働き
11	解剖生理学と心身生理学	内分泌系 ホメオスタシス
12	解剖生理学と心身生理学	泌尿器系 ストレス
13	解剖生理学と心身生理学	生殖器系 心と肥満の関わり スキンタッチの効果
14	解剖生理学	例題集を解く
15	定期試験	今まで学んだ範囲

科目名 (英)	エステティック理論Ⅱ Outline of Esthetics II	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	講義			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	CIDESCO国際資格を取得して、10年以上専門学校で指導してきた教員がAEA上級認定筆記試験に必要な応用理論を教える。また、サロンのインストラクターとして理論・技術指導をしてきたことを活かし、現場でよくある疑問やお客様からの質問の例なども挙げながらより具体的にイメージし理解を深めてほしい。					
目的 科目概要	目的: エステティックサロンで必要となる応用理論を習得する。習得レベルはAEA上級認定筆記試験と同等のものとする。 概要: 皮膚科学、栄養学、衛生消毒、化粧品学、電気学、関連法規、またこれらを関連付けてサロンでも活かせる理論を学ぶ。 本科目はアクティブラーニング型授業を進めていくものとする。自分で疑問点を見つけられる力、協力して解決する力をつける。					
到達目標	AEA上級認定筆記試験に合格する それぞれの科目の関りを理解し、科目の垣根を超えてお客様に詳しく説明ができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	エステティック協会テキスト、AEAテキスト、AEA筆記問題集		事前事後 学習と その内容	本科目に関連する過去に習得した内容を復習し、十分に理解した上で授業に臨むこと。 事後の学習としては習得した内容を説明できるくらいまで落とし込む。		
教材	プリント適宜配布					
特記事項	自分で調べる習慣を身につける。特に1度習得した内容はすぐに人に聞かずに調べ直すこと					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	皮膚科学①	皮膚の構造(キメ、表皮、真皮、皮下組織、皮膚付属器)
2	皮膚科学②	皮膚の生理機能、美しい肌のために、肌分析
3	皮膚科学③	肌トラブルの原因と対策(老化肌、シワ、シミ、たるみ、くすみ、毛孔の開き)
4	皮膚科学④	皮膚疾患の要因と症状(ニキビ、敏感肌、発疹、皮膚感染症)
5	栄養学①	栄養学の基礎知識(代謝のしくみ、栄養価、5大栄養素)
6	栄養学②	基礎代謝量、肥満のメカニズム、BMI法と体脂肪率、栄養機能食品と特定保健用食品
7	中間試験	1～6回までの講義の理解度を確認する
8	衛生・消毒①	公衆衛生について、消毒の種類と方法、手指消毒と備品消毒の詳細
9	衛生・消毒②	感染のメカニズム、病原微生物の種類、主な感染症、スタンダードプリコーションについて
10	化粧品学①	化粧品の定義と法律、化粧品の分類、剤型タイプの種類
11	化粧品学②	化粧品の乳化、界面活性剤の特徴と種類、化粧品の原料
12	電気学①	電気の基礎、電気の種類、3大作用、原子の構造
13	電気学②	イオン化とは、化学結合の種類、イオン導入の原理、pHについて、電解質と非電解質
14	関連法規	エステティックに関わる法律(医師法、美容師法、薬事法、PL法など) 特定商取引に関する法律
15	定期試験	8から14回までの講義の理解度を確認する

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development	年次	2	実務経験	担当	黒谷 典加
		授業形態	講義			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	30			
		単位	1			
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	クラスコミュニケーション	後期のクラスがよりよくなるように考える
2	社会人基礎力を身につける	5年後、10年後のビジョンについて考える
3	社会人基礎力を身につける	きれいな文字でお礼状を書く。
4	社会人基礎力を身につける	人前で報告する
5	グループディスカッション	【テーマ】敬語ではなす
6	グループディスカッション	【テーマ】ネガティブな言葉をポジティブに変換する。
7	中間試験	仕事を続けていくために何が必要かまとめる。800文字以内
8	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。上座・下座について学ぶ
9	社会人基礎力を身につける	電話対応について学ぶ
10	社会人基礎力を身につける	自己肯定感を高める
11	社会人基礎力を身につける	伝える力を学ぶ
12	社会人基礎力を身につける	名刺交換について学ぶ
13	クラスコミュニケーション	言葉の花束を贈る
14	定期試験	社会人として、どのように過ごしていくかをまとめる。
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する

科目名 (英)	メイクアップ総合Ⅲ Make upⅢ	年次	2年	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60時間	有		
		単位	4			
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	4シーズンカラーメイク、海外のメイク、スチールメイク、特殊メイクなど作品フォトに使えるメイクアップを理解し習得する。					
到達目標	スチールメイクなど作品的な造像力を身につけ習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	CAAメイクアップカラーアドバイザー公式テキスト		事前事後 学習と その内容	スティールメイクなどを学び、撮影や作品制作に役立てる。		
教材	メイク道具一式					
特記事項	授業前にメイク道具をセッティング					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	スプリング コレクションメイク	色相:イエローベース・明度:ライト・彩度:ビビットのメイクを実技
2	サマーコレクションメイク	色相:ブルーベース・明度:ライト・彩度:ソフトのメイクを実技
3	オータムコレクションメイク	色相:イエローベース・明度:ディープ・彩度:ソフトのメイクを実技
4	ウインターコレクションメイク	色相:ブルーベース・明度:ディープ・彩度:ビビットのメイクを実技
5	類似色メイク	色相グラデーションを使用した類似色メイクを実技
6	反対色・補色メイク	反対色・補色を使用したコントラストメイクを実技
7	4シーズンメイク中間試験対策	4シーズンメイク 中間試験対策
8	4シーズンメイク中間試験	4シーズンメイク 中間試験
9	特殊メイク	傷・あざ・火傷などハロウィーン や撮影現場で使用するメイクアップを学び実技
10	ペイントアート	蝶などのペイントアートを使用したメイクを学び実技
11	モノトーンメイク	白・黒・灰+赤を使用してモノトーンのメイクアップを学び実技
12	デコレーションメイク	グリッター・ホログラム・ラインストーンなどを使用した作品的なメイクを学び実技
13	レインボーメイク	7色のグラデーションメイクを学び実技
14	レインボーメイク定期試験対策	レインボーメイク 期末試験対策
15	レインボーメイク定期試験	レインボーメイク 期末試験

科目名 (英)	メイクアップ総合Ⅲ Make up	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではメイクアップに必要な専門的な理論と技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的: お客様ご本人が持ち合わせている印象や年齢・職業に合わせて多様なメイクアップ表現ができるビューティアドバイザーを目指す。 科目概要: 印象分析の手法を実践的に学ぶ。様々な職業・年齢の女性を想定しビジネススタイルに合わせたメイクアップを組み立てる。					
到達目標	印象分析の手法を習得する。様々な職業の女性を想定しメイクアップを組み立て提案できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	印象分析は沢山の人の分析することで、自分の物になるので、身近な人や道行く人の分析を行うと身につけていきますので、普段から意識して訓練していきましょう。		
教材	学校指定のメイク教材・各種ブランド化粧品					
特記事項	7回目と14回目の授業時にコマシラパスの提出をしていただき、その提出状況を課題点とします。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	フルメイク	自分の今のメイクアップの長所・短所を知る。フルメイクをしてみて今の段階での得意・不得意を知ることができる
2	印象分析①	様々な顔立ちから人の印象分析をする手法を実践的に学ぶ
3	印象分析・印象メイク②	印象分析によって得られた印象を強調するメイクを学ぶ
4	印象分析・印象メイク③	印象分析によって得られた印象を別の印象に見せるメイクを学ぶ
5	印象分析・印象メイク④	印象分析によって得られた印象を別の印象に見せるメイクを学ぶ
6	中間試験演習フルメイク	30分で印象を強調するメイクを仕上げる
7	中間試験	印象を強調するメイク 時間内(30分)でフルメイクができる【配点20点】
8	職業別メイクアップ①	30代メーカー営業(スマート)を設定にしてメイクアップアドバイスを考察し、提案することができる
9	職業別メイクアップ②	20代前半保母(ソフト)を設定にしてメイクアップアドバイスを考察し、提案することができる
10	職業別メイクアップ③	40代接客サービス業(ゴージャス)を設定にしてメイクアップアドバイスを考察し、提案することができる
11	職業別メイクアップ④	50代弁護士(インテリジェント)を設定にしてメイクアップアドバイスを考察し、提案することができる
12	トレンドの変遷①	60年代のファッションとメイクの関連を知る
13	トレンドの変遷②	80年代のファッションとメイクの関連を知る
14	トレンドの変遷③	2020年秋冬ファッションとメイクを知る 定期試験の注意事項を確認する
15	定期試験	2020年秋冬トレンドメイク 時間内(30分)でフルメイクができる【配点50点】

科目名 (英)	ヘアメイク技術Ⅲ Hair Make Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	足立 祐季
		授業形態	実技			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	化粧品メーカーのイベント、広告等様々なジャンルで活躍している現役ヘアメイクアップアーティストによる実践的な授業を行います					
目的 科目概要	基礎を見直し、定番スタイルを始め、TPOやシチュエーション別のヘアメイクを学ぶ					
到達目標	基礎技術を習得し、TPOにあったヘアメイクを提案できる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	無し		事前事後 学習と その内容	授業中はしっかりメモをとり必ず復習をすること。		
教材	ヘア道具一式、日によりメイク道具追加					
特記事項	授業時はエプロンを必ず着用する					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	基礎技術の見直し	ホットカーラー前頭巻き、コテ巻き、ピンング、編み込み
2	ねじりハーフアップ	相モデルにてツイスト練習を行い、ハーフスタイスが作れるようになる
3	ルーズアップ	相モデルにてルーズのアップを作れるようになる
4	ルーズアップ	相モデルにてルーズのアップを作れるようになる
5	かぶせのアップ	かぶせアップの基本構成を覚え美しく仕上げる
6	中間試験練習	試験に向けた面、ピンングの強化
7	中間試験	中間試験練習後、定期試験
8	浴衣ヘアメイク	清楚系のヘアメイクをイメージに合わせて作る
9	浴衣ヘアメイク	ポップ系のヘアメイクをイメージに合わせて作る
10	カールアップ	カールアップの基本構成を覚え美しく仕上げる
11	TPOヘアメイク	相モデルにて昼パーティのヘアメイクを美しく仕上げる
12	TPOヘアメイク	相モデルにて夜パーティのヘアメイクを美しく仕上げる
13	和装シニヨン	すき毛の使い方を確認し和装シニヨンの基本構成を覚え美しく仕上げる
14	定期試験練習	面やヘアのバランスに気をつけながら定期試験に向けて和装シニヨンを美しく仕上げる
15	定期試験	練習後定期試験

科目名 (英)	サロンワークⅡ Salon Work Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	浅野 景子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	90	有		
		単位	6			
講師紹介	化粧品ブランドで接客接客、ビューティカウンセリングとアドバイスを長きにわたり従事し、監督職として部下育成に貢献してきています。スキンケアインストラクターとして専門教育を行っています。ビューティアドバイザー、メイクアップアーティストを目指す皆さんとビューティトレーニングブランドメイクアップサロンを運営し、組織内で働く心得、仕事の優先順位を意識した行動、接客接客での気配りをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:化粧品ブランド、サロンに入社直後から即戦力になるため、自ら状況判断ができ発言、行動できる。またお客様から指名される接客技術を身につける。概要:この科目では学内サロンでのお客様への対応や出張サロンでの訪問先での職業人マナーを修得する。お客様を第一に考慮し好感の持てるサロン構築のための改善点を見いだしメンバー全員で取り組み、さらに良いサロン運営へと導く経験を就職後の仕事に役立てるための実習である。					
到達目標	チームワークを大切に、メンバーの一人として自ら行動を起こすことができる。 お客様にとって好感が持てる接客接客ができ、臨機応変に対応できる。 お客様が満足できるスキンケアアドバイスやメイクアップができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						
教材						
特記事項	チームワークと協調性を重んじ行うべきことの優先順位を考えながら行動する。報告、連絡、相談を常に取り入れて楽しく参加してほしい。	事前事後 学習と その内容	日常生活で接客されたとき、お客様の立場と接客する側の両方の立場について考え、「良い点」「悪い点」を意識し、サロンワークの接客に役立ててほしい。お客様のニーズに合わせたメイクアップを仕上げられる技術とスキンケアアドバイスを磨くことを望む。			

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンオープン⑧	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
2	サロンオープン⑨	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
3	サロンオープン⑩	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
4	サロンオープン⑪	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
5	サロンオープン⑫	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
6	サロンオープン⑬	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
7	中間試験	サロンオープンを振り返り、日別に業務内容をレポートし、自己評価を行う。また、サロンオープン⑧～⑬の接客接客やエピソードを振り返り気付きをレポートする。今後の目標を立てる。
8	サロンオープン⑭	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
9	サロンオープン⑮	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
10	サロンオープン⑯	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
11	サロンオープン⑰	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
12	サロンオープン⑱	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
13	サロンオープン⑲	一般のお客様をお迎えし、ビューティカウンセリング、スキンケアアドバイス、メイクアップ、お送りまでの接客接客を行う。メンバー全員で反省会を行い改善点を洗い出し解決策を決める。
14	エステコース・ネイルコース・メイクアップコース 合同プレゼンテーション	前期「サロンワークⅠ」のプランニング～後期「サロンワークⅡ」までのサロン業務、目標に対しての達成内容、前年の「サロンワークⅠ」との比較、接客内容、お客様からの評価を各コースごとにプレゼンテーションを行う。
15	定期試験	サロンオープンを振り返り、日別に業務内容をレポートし、自己評価を行う。また、「サロンワークⅠ」「サロンワークⅡ」から学べたことと就職後の決意、新2年生へのメッセージをレポートする。

科目名 (英)	トータルセールス	年次	2	実務経験	担当	浅野 景子
	Total Sales	授業形態	講義・演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	120	有		
		単位	8			
講師紹介	化粧品ブランドで接客接客、ビューティカウンセリングとアドバイスを長きにわたり従事し、監督職として部下育成に貢献してきています。コスメ・スキンケアインストラクターとして専門教育を行っています。ビューティアドバイザー、メイクアップアーティストを目指す皆さんにメイクアップカウンセリングとアドバイス、クレーム対応、フレグランスセールスの基本的な知識とセールステクニックをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:化粧品ブランドの接客に必要なメイクアップカウンセリング&アドバイスとセールス、フレグランスセールスのポイントを習得する。また、化粧品カウンターでのクレーム対応とクレーム対策を修得する。訴求できるディスプレイとプレゼント(贈答)用ラッピングとリボン掛けを修得する。概要:この科目ではメイクアップカウンセリングとアドバイスのポイントを習得しロールプレイを行う。フレグランスの基礎知識を習得しセールスポイントを学ぶ。クレーム別対応の基礎知識を学びクレーム対応のロールプレイを行い修得する。贈答の基本的な知識を学びラッピングを習得する。					
到達目標	お客様のニーズに合わせたメイクアップ提案とメイクアップアドバイスができる。 お客様のクレーム対応ができクレーム処理ができる。 フレグランスの知識と紹介時の作法を身につけフレグランスアイテムを紹介できる。 お客様からのプレゼント(贈答)のご相談に対応でき、慶弔に合わせたラッピングができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項	メイクアップセールスの授業は、授業開始までにテーブルにセッティングし、すぐに化粧品が使用できるよう準備する。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ベースメイクアップ知識の復習と応用 ディスプレイ&ラッピング①	ベースメイクアップアイテムのセールスポイントを説明する。ベースメイクアップアイテム別の特徴や使用方法を説明する。化粧品ディスプレイの基本を学ぶ。
2	ベースメイクアップアイテムセールスロールプレイ ディスプレイ&ラッピング②	お客様のニーズに合ったベースメイクを仕上げる。お客様の悩み別ベースメイクアップ法をアドバイスする。訴求できるディスプレイを演習する。
3	アイブロウ知識の復習と応用 ディスプレイ&ラッピング③	アイブロウアイテムのセールスポイントを説明する。アイブロウアイテム別の特徴や使用方法を説明する。理想的な眉プロポーションを説明する。ラッピングの基本を学ぶ。
4	アイブロウアイテムセールスロールプレイ ディスプレイ&ラッピング④	カウンセリングを行い、お客様のアイブロウのニーズを聴き出し、ニーズ通りの眉が描ける。お客様にお似合いの眉の描き方をアドバイスする。贈答用ラッピングを行う。
5	アイメイクアップ知識の復習と応用 ディスプレイ&ラッピング⑤	アイメイクアップアイテムのセールスポイントを説明する。アイメイクアップアイテム別の特徴や使用方法を説明する。リボン掛けの種類を学ぶ。
6	アイメイクアップアイテムセールスロールプレイ ディスプレイ&ラッピング⑥	カウンセリングを行い、お客様のアイメイクアップのニーズを聴き出し、ニーズ通りのアイメイクアップを仕上げる。お客様にお似合いのアイメイクアップを提案する。さまざまな形のもののラッピングとリボン掛けを行う。
7	中間試験	ベースメイクアップアイテム、アイブロウアイテム、アイメイクアップアイテムの特徴や使用方法を敬語を正しく使い分け、セールストークでお客様に推奨できる。贈答用セールスの時のラッピングとリボン掛けがスムーズに美しくできる。
8	リップ&チークメイクアップ知識の復習と応用 リップ&チークアイテムセールスロールプレイ	リップ&チークメイクアップアイテム別の特徴や使用方法を説明する。カウンセリングを行い、お客様のリップ&チークメイクアップのニーズを聴き出しリップ&チークメイクアップを仕上げる。お客様にお似合いのリップ&チークメイクアップを提案する。
9	フレグランスの基礎知識	フレグランスの種類、香りの変化、ノート、フレグランスを使用する注意点、使用方法を学ぶ。フレグランスの香りを言葉で表現する。
10	フレグランスアイテムセールスロールプレイ	カウンセリングを行い、お客様の香りのニーズを聴き出し、ニーズ通りのフレグランスアイテムを紹介する。お客様の雰囲気合った香りを提案する。
11	メイクアップ提案ロールプレイ	お客様にお似合いのメイクアップ提案のカラーチャートを作成し、メイクアップをしながら使用アイテムの特徴や使用方法を説明する。
12	スキンケア・メイクアップ・フレグランス プレゼント(贈答)用セールスロールプレイ	お客様からのプレゼントについてのご相談対応、熨斗(のし)掛けや慶弔に合わせたラッピング、及び、形に合ったリボン掛けの接客販売の演習を行う。
13	クレーム対応の知識	化粧品カウンターでのクレームの種類、クレーム対応の心得、クレーム対策の知識を学ぶ。
14	クレーム対応ロールプレイ	化粧品カウンターでのクレーム対応、クレーム処理のロールプレイを行う。
15	定期試験	メイクアップアイテムの特徴や使用方法を分かりやすく伝えることができ、フレグランスの知識を取得している。また、クレーム処理能力を確認する。贈答目的に合わせた基本的な知識を修得している。

科目名 (英)	ネイリスト検定対策Ⅲ Nail for ExaminationⅢ	年次	2年	実務経験	担当	殿村 雅子
		授業形態	講義・実習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属のネイリストとして現場の経験を活かし技術指導を行う。					
目的 科目概要	ネイリスト検定1級・2級の対策授業。検定合格に向け、接客・施術・知識の応用まで細かい点や注意事項を理解し受講してほしい。ジェルアートやお客様からのオーダーされたアートが出来るようになるようサロンに適したデザインも行う。特にジェルの応用技術を習得しサロンワークに活かせる・ジェル検定に対応した技術を習得できるように中間試験・期末試験も徹底し授業に臨んでほしい。					
到達目標	中間試験と定期試験を取り入れ、タイムトライアルで時間も意識していく。 相モデルを取り入れ実際にトレーニングを行う。 ネイリスト技能検定1・2級に合格できるよう商品の特性を習得し、技術の向上を図る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック	事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。			
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイリスト検定1級・2級の対策授業	受験対象外者はジェル中級・上級の対策授業
2	ネイリスト検定1級・2級の対策授業	受験対象外者はジェル中級・上級の対策授業
3	ネイリスト検定1級・2級の対策授業	受験対象外者はジェル中級・上級の対策授業
4	ジェル中級・上級の対策授業	ジェル中級・上級内容デモンストレーション・相モデルトレーニング
5	ジェル中級・上級の対策授業	相モデルトレーニング
6	ジェル中級・上級の対策授業	相モデルトレーニング
7	中間試験	ジェル検定最終実力テスト
8	ジェルアートを覚える	小花柄、大花柄。デモ、相モデルトレーニング
9	ジェルアートを覚える	キルティング、クロコダイルなど。デモ、相モデルトレーニング
10	ジェルアートを覚える	千鳥、ツイード、レースなど。デモ、相モデルトレーニング
11	オーダーされたアートが出来るようになる	5本セットのジェルアートを写真通りに施術。相モデルトレーニング
12	サロンワークに適したジェルデザイン力を身につける	サロンスタイルのジェルアート。デザイン画作成。相モデルトレーニング
13	様々なジェルアートの復習	柄物の振り返り練習。相モデルトレーニング
14	今までの技術を活かしてお客様にアートの提案	5本セットでお客様に合うジェルアートを施術。相モデルトレーニング・タイムトライアル
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	ネイル検定対策 III Nail for Examination III	年次	2年	実務経験	担当	阿部 恵理子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティー科	時間数	60時間	有		
		単位	4単位			
講師紹介	ネイリストとしてサロンワークやスタッフ育成に携わりながら、長年講師活動や検定試験官として活動する教員が、最新の業界情報を基にジェルネイル検定試験中級とネイリスト技能検定試験1級、2級合格を目指した授業を行う。					
目的 科目概要	ネイリスト技能検定試験1,2級合格レベルとジェルネイル検定中級、上級合格レベルの技術と知識を身につける。					
到達目標	ネイリスト技能検定試験1,2級合格レベルとジェルネイル検定中級、上級合格レベルの技術と知識を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書	テクニカルシステムベーシック		事前事後 学習と その内容	自身が受験する級のタイムトライアルを自宅学習で行う。		
教材	ネイル道具一式					
特記事項	3単位まではネイリスト技能検定試験1・2級9単位まではジェルネイル検定試験中・上級の準備をすること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイリスト技能検定試験1,2級対策①	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
2	ネイリスト技能検定試験1,2級対策②	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
3	ネイリスト技能検定試験1,2級対策③	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
4	ジェルネイル検定試験中級、上級対策①	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
5	ジェルネイル検定試験中級、上級対策②	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
6	ジェルネイル検定試験中級、上級対策③	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
7	中間試験	規定の時間内に受験する級の試験内容が合格レベルで施術することができる。
8	ジェルネイル検定試験中級、上級対策④	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
9	ジェルネイル検定試験中級、上級対策⑤	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
10	ネイリスト技能検定試験1,2級対策①	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
11	ネイリスト技能検定試験1,2級対策②	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
12	ネイリスト技能検定試験1,2級対策③	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
13	ジェルネイル検定試験中級、上級対策①	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
14	ジェルネイル検定試験中級、上級対策②	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	コンテスト対策Ⅱ Measures for contestⅡ	年次	2	実務経験	担当	阿部 恵理子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティー科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	コンテスト出場者、過去入賞者を指導した実績から傾向と対策を考えてアート、イクステンション技術を教えるのと同時に自身でデザインをする力を育てていきたい。					
目的 科目概要	コンテストに必要なアートとイクステンション技術などのネイルテクニックとデザイン力を学び、コンテストで通用する技術を身につける。					
到達目標	様々なアート技術とイクステンション技術などを組み合わせて、コンテスト作品が作れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書	テクニカルシステムベーシック		事前事後 学習と その内容	自身が受験する級のタイムトライアルを自宅学習で行う。		
教材	ネイル道具一式					
特記事項	3単位まではネイリスト技能検定試験1・2級9単位まではジェルネイル検定試験中・上級の準備をすること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイルマシーン	ネイルマシーンの使い方を覚える。
2	エアブラシ①	エアブラシのセッティングや使い方、片付けかたを覚える。
3	エアブラシ②	エアブラシのシールを自分で作って作品を作ってみる。
4	3Dアート①	アクリルで3Dアートをつくる。
5	3Dアート②	アクリルとジェルを組み合わせる作品をつくる。
6	3Dアート③	アクリルとジェルを組み合わせる作品をつくる。
7	中間試験	中間試験
8	ジェルネイル検定試験中級、上級対策④	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
9	ジェルネイル検定試験中級、上級対策⑤	苦手なところを理解し、改善して上達することができる。
10	トレンドアート①	ニュアンスネイル
11	トレンドアート②	ミラーネイル
12	トレンドアート③	ワイヤーネイル
13	トレンドアート④	テキスタイルネイル
14	トレンドアート⑤	ポップアートネイル
15	定期試験	規定の時間内に5本セットのアート作品をつくることができる。

科目名 (英)	ネイル総合技術Ⅲ Nail ArtⅢ	年次	2	実務経験	担当	田野入 麻記子
		授業形態	実習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	120	有		
		単位	8			
講師紹介	ネイリストとして国内のみならずニューヨークコレクションなどのファッションショーでのバックステージや、海外での一流アーティストの撮影にも携わる。					
目的 科目概要	JNA技能検定1級・JNAジェルネイル技能検定上級を取得。ジェルアート方法をしっかりと学ぶためにデモを取り入れ、相モデルで実際に実技を行う。ジェルアートのチップを作成するなど何度もデザインを変えチップ制作。練習を重ね技術面を伸ばしていくよう授業に臨んでほしい。ジェルネイルの基礎技術を習得しジェルネイル検定に合格できるアートを身に付けるよう授業を行う。					
到達目標	ジェルネイルの技術を習得出来るよう検定に沿った知識・相モデルを組み実際に練習をして技術を習得。ジェルネイル検定に合格できるデザインアートを勉強し身に付ける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	JNAテクニカルベーシックジェルネイル	事前事後 学習と その内容				
教材	ネイル道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルアートを覚える	カラーグラデーション、ラメグラデーション。デモ・相モデルトレーニング。
2	ジェルアートを覚える	グラデーション応用。デモ・相モデルトレーニング。
3	ジェルアートのサンプルチップを作る	カラーグラデーション、ラメグラデーション、縦グラデーション。5本1セットのサロン向けサンプルチップ作成。
4	ジェルアートを覚える	フレンチ、逆フレンチ。デモ・相モデルトレーニング。
5	ジェルアートを覚える	斜めフレンチ、ラメライン。デモ・相モデルトレーニング。
6	ジェルアートのサンプルチップを作る	フレンチ、逆フレンチ、斜めフレンチ、ラメライン。5本1セットのサロン向けサンプルチップ作成。
7	中間試験	これまで学んだ技術を生かし合格点を取る
8	ジェルアートを覚える	マーブル、タイダイ。相モデルトレーニング。
9	ジェルアートを覚える	フラワー応用。デモ・相モデルトレーニング。
10	ジェルアートを覚える	チェック、秋冬ネイルのデモ・相モデルトレーニング。
11	ジェルアートを覚える	ドット、フラワー応用編。デモ・チップ制作。
12	ジェルアートを覚える	アニマル柄を覚える
13	ジェルアート復習	テーマに合わせて提案・作成。5本1セットのサロン向けサンプルチップ作成。
14	ジェルアート復習	テーマに合わせて提案・作成。5本1セットのサロン向けサンプルチップ作成。
15	定期試験	これまで学んだ技術を生かし合格点を取る

科目名 (英)	サロンワークⅡ Salon Work II	年次	2	実務経験	担当	服部 幸子
		授業形態	講義・実習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	90	有		
		単位	6			
講師紹介	木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属のネイリストとして現場の経験を活かし技術指導を行う。					
目的 科目概要	サロンで働く際必ず必要な仕事への姿勢、挨拶の仕方、お客様への気遣い、店舗の清掃、身の回りの整理整頓を進んで行うよう授業を行う。店内での接客マナーやスタッフ間のチームワーク、協調性を身に付ける為にはどのようにしたら良いか理解しながら受講してほしい。開店、集客、接客、お見送り、アフターフォローなどサロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身に付けるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	サロン運営で整理整頓を進んで行うことを習得。 働く上で接客マナーを身に付け社会に出た際に十分お客様への対応を習得。 サロン勤務の一連の流れである接客、施術、お見送りを把握する事が出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	プリント(補助教材)随時配布		事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。		
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンオープン	サロンオープン
2	サロンオープン	サロンオープン
3	サロンオープン	サロンオープン
4	サロンオープン	サロンオープン
5	サロンオープン	サロンオープン
6	サロンオープン	サロンオープン
7	中間試験	サロンオープンしての振り返り発表 反省点を改善し集客に取り掛かる。
8	サロンオープン	サロンオープン
9	サロンオープン	サロンオープン
10	サロンオープン	サロンオープン
11	サロンオープン	サロンオープン
12	サロンオープン	サロンオープン
13	サロンオープン	サロンオープン
14	3サロン取り組むまとめ&発表	3サロン取り組むまとめ&発表。メニュー、内容、価格、合計売上
15	定期試験	この科目の振り返り&決意表明

科目名 (英)	エステティック総合Ⅲ EstheticsⅢ	年次	2	実務経験	担当	伊藤 葉子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	CIDESCO、アロマセラピー、美容脱毛、AEA認定講師、Ajesthe認定講師などの資格を有し、CIDESCO教育に10年以上尽力してきた講師が、CIDESCO実技試験に必要な技術をわかりやすく丁寧に指導する。					
目的 科目概要	目的: CIDESCO合格に向けた機器理論を学び技術を習得することで機器トリートメントが手際よくできるようになる。 概要: 国内試験とは違う国際レベルの実技理論を学んだのち、デモンストレーションを通して実技手順を確認する。相モデルで行うこととお互いに協力し合い、技術を高め合うことができる。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CIDESCO実技試験に必要な、国内試験とは異なる国際レベルでの実技理論を学ぶ。 ・機器の特性を理解し、目的トラブルに合わせた安心安全な技術を行う。 					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	適宜プリント配布		事前事後 学習と その内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業後、20分程度技術の反復復習をする。 ・授業前日に、マシントリートメント授業で学んだことを復習する。 		
教材	筆記用具、タオル、消毒剤、オイル、化粧品					
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された制服、ネームバッジを着用する。 ・ボディエステティックができる身だしなみを整える。 ・相モデルで技術を行うため健康に留意する。 					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	マシントリートメントの基礎技術確認	CIDESCO試験で使用するエステティック機器の種類を確認し、電気学機器学で学んだ知識を基に取り扱いと注意事項の確認を行う。
2	ボディバイブレーション機器①下肢後面	機器の目的と効果、使用方法、禁忌事項、アタッチメントの名称を確認する。相モデルで協力し合い知識を向上させるとともに応用技術を習得する。
3	ボディバイブレーション機器②腹部	下肢のテクニックを応用し腹部のトリートメントを行う。目的に合わせた各部位のトリートメントができるように応用技術を習得する。
4	フェイシャルイオントフォレーゼと高周波直接法	目的と効果、電流、周波数、使用方法、注意事項、禁忌事項を確認する。相モデルで協力し合い知識を向上させるとともに応用技術を習得する。
5	フェイシャルパターと高周波間接法	目的と効果、操作手順、時間、上半身のリンパの流れとリンパ節など確認する。相モデルで協力し合い知識の向上と応用技術を習得する。
6	フェイシャル低周波	目的と効果、筋肉、使用方法、時間など確認し、新しい知識と技術を習得する。相モデルで協力しあい正しい技術を安全に行う。
7	中間試験	1回から6回までの内容を確認する。技術力確認テストを実施する。
8	ボディサクシオン①上肢と腹部	目的と効果、操作手順、時間、上肢と腹部のリンパの流れとリンパ節など確認する。相モデルで協力し合い知識の向上と応用技術を習得する。
9	ボディサクシオン②背部と下肢	下肢と背面のリンパの流れとリンパ節を確認する。前面のテクニックを応用し、背面のトリートメントを行う。目的に合わせて各部位のトリートメントができるように応用技術を習得する。
10	ボディ低周波①前面	目的と効果、操作手順、周波数、時間、前面の骨格筋など確認する。相モデルで協力し合い知識の向上と応用技術を習得する。
11	ボディ低周波②後面	後面の骨格筋を確認し、前面のテクニックを応用したトリートメントを行う。目的に合わせた応用技術を習得する。
12	ボディガルバニック	目的と効果、電流、化粧品、時間、禁忌事項を確認し、新しい知識と技術を習得する。相モデルで協力しあい正しい技術を安全に行う。
13	ボディ機器の選定①むくみ・冷え	これまで学んだボディ機器を目的に合わせて選定し、トラブル別のプランニングを行う。相モデルで協力して知識と技術を習得する。
14	ボディ機器の選定②ダイエット・筋強化	これまで学んだボディ機器を目的に合わせて選定し、トラブル別のプランニングを行う。相モデルで協力して知識と技術を習得する。
15	定期試験	8回から14回までの内容を確認する。技術力確認テストを実施する。総括と振り返り。

科目名 (英)	エステティック総合Ⅲ EstheticsⅢ	年次	2	実務経験	担当	賀川 寛子 塩瀬 静江
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	実務に活かせる専門的な知識と技術と人間力を大切にしながら、基礎を繰り返し丁寧に解説することを心がけています。20年以上、セラピストの育成に携ってきた教員が、心と身体の面からトータルにお客様の美容と健康をサポートできる最先端の感性をもつエステティシャンを目指すために必要な、知識と技術およびイメージする力の基礎を習得する方法をお伝えします。					
目的 科目概要	目的:あらゆるサロン現場で共通に必要な「お客様のニーズ」をより深く理解する感性と、「ニーズに効果的に応えられる」施術や接客ができるようになるために必要な、知識、技術、感じる力、考える力、想像する力を養う。 概要:この科目では、エステティシャンに必要なセラピーの基本概念をカラーセラピー、アロマセラピー、リフレクソロジーなど様々な知識と実技を通してその効果や活用方法を学ぶ。					
到達目標	カラーセラピーやリフレクソロジーなどの知識や技術を用いて既存の施術効果を高めることができる。 一人一人のお客様の無言の情報である雰囲気や話し方、目線などからもニーズをつかめるようになり、より信頼される対応ができる。 SPAで利用されるタラソセラピー、ストーンマッサージなど多彩なメニューに対応することができる。 お客様のニーズに合わせて、さまざまな技術を組み合わせたメニュー提案や施術内容を組み立てることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	初めてでもできる33のリフレクソロジー(BABジャパン) 他		事前事後 学習と その内容	お客様一人一人に合ったカラーセラピーやリフレクソロジーを活かす方法は一つではない。根拠をもとに最良の方法を導き出す必要がある。そのため、授業の後は積極的にクラスメイトと意見交換を行い、自分なりの根拠と方法を見いだせるようになって欲しい。		
教材	カラーペン カラーボトル CDプレイヤー					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	SPAの概要 タラソセラピー	スパの歴史やガイドラインを学ぶ。 海藻・海泥パックができるようになる。
2	温泉と水治療について ボディスクラブ	ハイドロセラピーと入浴法について学ぶ。 ボディスクラブができるようになる。
3	浮腫とリンパドレナージュ バンデージの巻き方①	むくみとリンパドレナージュについて学ぶ。 バンデージの巻き方、方法を学ぶ。
4	セラピーの種類について バンデージの巻き方②	さまざまなセラピーの種類があることを学ぶ。 バンデージを決められた時間に綺麗に仕上げることができる。
5	伝統的なマッサージ療法 ホットストーンマッサージ①	ホットストーンマッサージ(背面)の方法を学ぶ。
6	伝統的なマッサージ療法 ホットストーンマッサージ②	ホットストーンマッサージ(背面)が出来るようになる。
7	中間試験	お客様に合わせてさまざまな療法を組み合わせた施術の提案が出来る。 これまでを振り返る。理解度を確認する。
8	カラーセラピーの基礎	カラーセラピーの考え方、歴史、活用方法を知り、カラーセラピーの絵画療法を自分自身が実践し、意識・無意識の自分の心と身体の状態を読み解きながら、体験を通して理解を深める。
9	オーラソーマ式カラーセラピー	オーラソーマ式のカラーセラピーの歴史、考え方、製品、成分、リーディング方法を学ぶ。 目に見えない色の作用について、触れて色を送る・色を感じるなどの実技を通してカラーセラピストとしての実践力を養う。
10	アロマカラーカウンセリング	色と精油と心と身体との関係を知り、アロマカラーカウンセリングの方法を学ぶ。 アロマカラーカウンセリングの実践を通して、自分の心身の状態を確認しながら理解を深める。
11	美容別サプリカラー	美肌、スリミング、育毛など美容目的別にその効果を高めるカラーの使い方を知る。 相手にふれながら色を感じる・色を送る方法を学ぶ。
12	カラーフットリフレクソロジーⅠ	足から健康状態をみる方法を知る。 オレンジ、イエロー、ピンク、グリーンの不調別リフレクソロジーを学ぶ。
13	カラーフットリフレクソロジーⅡ	足から心理状態を読む方法を知る。 ブルー、パープル、クリアの不調別リフレクソロジーを学ぶ。
14	宝石セラピーとハンドリフレクソロジー	宝石セラピーの考え方と活用方法を学ぶ。 ハンドリフレクソロジーの方法と、宝石セラピーとの相乗効果を学ぶ。
15	定期試験	顔の状態から性格や健康を読み取る方法および、フェイシャルリフレクソロジーを知る。 これまでを振り返る。理解度を確認する。

科目名 (英)	サロンワークⅡ Salon Work Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティ科	時間数	90	有		
		単位	6			
講師紹介	エステティシャンとして、約18年間、フェイシャルケア、ボディケア等様々な美容サービスを提供してきました。また美容専門学校においては現場経験を踏まえながら心身を癒し、美肌やボディラインを整える為のノウハウをお伝えしています。この授業では実務を通じて、皆さんがエステティシャンとして社会で活躍する際に必要となる接客力や技術力を磨いていきます。					
目的 科目概要	1年次に学んだ基礎知識と技術を基に、事前準備の大切さ、協調と協力の必要性を体感する。お客様への施術、接客を通してご満足頂ける接客力、技術力を習得する。実務を経験しながら、今より更にお客様とスタッフ、サロンにとって良いアイデアはないか常に考えられる思考を持つ。					
到達目標	挨拶・気遣い・清掃・整理整頓を進んで行う事が出来る。接客マナー・チームワーク・協調性を身につける。サロン勤務の一連の流れを把握し、現場力を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	実習後、サロンワークを行ってみて考えられる改善点や伸長点は次回授業までに列挙しておく。		
教材						
特記事項	授業内にスタッフ同士で決定した事や変更事項は必ずメモに残し、スタッフ全員で統一見解を持つ事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	サロンオープン《1》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
2	サロンオープン《2》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
3	サロンオープン《3》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
4	サロンオープン《4》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
5	サロンオープン《5》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
6	サロンオープン《6》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
7	中間試験	後期サロンワークの振り返り発表。次回への準備。
8	サロンオープン《7》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
9	サロンオープン《8》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
10	サロンオープン《9》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
11	サロンオープン《10》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
12	サロンオープン《11》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
13	サロンオープン《12》	実際にお客様をお迎えして、接客・施術・運営を行う。
14	学内合同サロン	メイクアップコース、ネイルコースと合同に学生同士で施術者とお客様役になりサロンを実施する。
15	定期試験	後期サロンワークの振り返り、就職へ向けて各自目標の発表。各コースの成果発表。

科目名 (英)	クライアント実習 Client Training	年次	2	実務経験	担当	小池 千絵
		授業形態	演習			
学科・コース	トータルビューティー科	時間数	120	有		
		単位	8			
講師紹介	国内外のエステティックの資格を保有し、複数の都内専門学校にてエステティックの授業を受け持つ講師がCIDESCOインターナショナルエステティシャン資格取得のために必要な判断力、集中力を高めるため1日を通して実技練習をおこないます。					
目的 科目概要	今まで習得してきた技術を生かしたトリートメントができるようになり、お客様のお悩みに合わせたプランニング技術の向上をはかります					
到達目標	CIDESCOインターナショナルエステティシャン資格取得					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	プリント(適宜)					
特記事項	授業開始チャイムの前に必ずフェイシャル、ボディのセッティングを終了すること。10回目以降(予定)の授業は各自モデルを準備してください					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
2	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
3	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
4	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
5	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
6	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
7	中間試験	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
8	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
9	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
10	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
11	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
12	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
13	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
14	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
15	定期試験	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				

授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
2	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
3	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
4	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
5	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
6	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
7	中間試験	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
8	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
9	モデルに適したメニューの組み立てを行う	フェイシャル、ボディのカウンセリング～施術を時間内にできる				
10	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
11	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
12	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
13	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
14	モデルに適したメニューの組み立てを行う	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				
15	定期試験	CIDESCOインターナショナル試験の流れを行う				

科目名 (英)	エステティック理論Ⅲ Esthetics TheoryⅢ	年次	2	実務経験	担当	伊藤 葉子
		授業形態	講義			
学科・コース	トータルビューティー科	時間数	60	有		
		単位	4			
講師紹介	CIDESCO、アロマセラピー、美容脱毛、AEA認定講師、Ajesthe認定講師などの資格を有し、CIDESCO教育に10年以上尽力してきた講師が、CIDESCO筆記試験に必要な知識をわかりやすく丁寧に講義する。					
目的 科目概要	目的: CIDESCO合格に向けての知識を学ぶ。 概要: これまでに学んだ基礎知識をさらに深める。世界的に通用する国際ライセンスを取得するためには、より広く深い知識が必要となるため、問題の解説と反復復習により知識を高める。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CIDESCO実技試験に必要な、国内試験とは異なる国際レベルでの実技理論を学ぶ。 ・CIDESCO筆記試験合格に必要な国際レベルの知識を学ぶ。 					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	適宜プリント配布		事前事後 学習と その内容	・授業前日に必要な教材を用意し、復習を行い見直しておく。		
教材	筆記用具					
特記事項	必要な内容はメモを取ること。基本的に無断での写真撮影、動画撮影を禁止する。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自然科学	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学とは何か、物質と物質の三態、イオン、光線について学ぶ。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
2	電気学/美容電気機器	<ul style="list-style-type: none"> ・化学結合、電流、電気機器に関する単位と名称、エステティック機器の種類と作用、禁忌事項についての知識をさらに深める。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
3	生理解剖学①細胞/代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞学、組織学、代謝についての知識をさらに深める。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
4	生理解剖学②器官系	<ul style="list-style-type: none"> ・骨格系、筋系、循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、内分泌系、生殖器系の知識をさらに深める。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
5	生理解剖学③神経系/大脳生理学	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系、大脳生理学についての知識をさらに深める。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
6	皮膚科学	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の構造と機能を復習し、肌の分析、皮膚疾患、美容外科についての知識をさらに深める。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
7	中間試験	1回から6回の内容を確認する。知識力確認テストを実施する。
8	基礎化学/化粧品入門	<ul style="list-style-type: none"> ・原子構造、有機と無機、酸化、乳化などを学ぶ。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
9	化粧品学	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品原料、スキンケア化粧品メイルメイク化粧品など復習し、国内と海外の化粧品の違いを学ぶ。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識力を高める。
10	衛生消毒学	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生消毒の基礎を復習し、衛生用品とクレンジングなど実技理論の知識をさらに深める。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
11	フェイシャル実技理論/ボディ実技理論/美容脱毛	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージの種類や手技による効果の違いを学ぶ。 ・美容脱毛の種類とメリットデメリット、禁忌事項を学ぶ。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
12	運動生理学/栄養学	<ul style="list-style-type: none"> ・骨格筋の活動様式と体型の改善、姿勢の不調、肥満による皮膚トラブルなどを学ぶ。 ・栄養学の復習をし、トラブル別の栄養アドバイスを学ぶ。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
13	職業倫理/経営学	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員と雇用者、顧客、医療従事者との関係、サロン経営の基礎知識を学ぶ。 ・過去問題を実施し、解説を通して知識を高める。
14	模擬問題の練習	・試験同様の模擬試験を実施し、知識レベルの確認をする。解説を通して知識を高める。
15	定期試験	8回から14回の内容を確認する。知識力確認テストを実施する。総括と振り返り。